

平成 26 年度
第 4 回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

1. 日 時：平成 26 年 10 月 17 日（金） 15:00～16:30
2. 場 所：天神西茂ビル 6 階 602 号室
3. 出席者：外井哲志, 坂井猛, 橋本信幸, 吉武哲信, 内田智昭, 大枝良直, 加知範康, 辰巳浩, 堤昌文, 永村景子, 日暮光一郎, 松永千晶, 箕浦永子, 山下三平, 吉城秀治 以上 15 名

4. 議 事

1. 前回幹事会議事録の確認
2. 理事会報告（9月29日分）
3. 平成26年度支部主催シンポジウムについて
4. 支部活動の検討；支部研究発表会について
5. 「支部ニュース」（10月発行分）
6. 「支部だより」について
7. 名義後援について(2件)
8. 会計報告
9. その他；「支部ニュース」での会員著書紹介の諾否について

5. 議事内容

1. 前回議事録の確認（外井）

- ・ 事前メール審議に基づき、前回の会議内容を確認した。

2. 理事会報告（9月29日分）（外井）

- ・ 平成 26 年度第 6 回理事会（9/29）の資料を用いて報告がなされた。

3. 平成 26 年度支部主催シンポジウムについて（吉武）

- ・ 別途資料に基づき、シンポジウムの企画案「(仮) 国際観光からの地域活性化～多様な旅行者に対応したおもてなしを通じて～」について日時・会場・講師およびパネラーが提案され、承認された。
- ・ 資料代の徴収について、参加者多数で余剰が出る場合には、講演者の謝金を増額する(支部会計には入れない)、との方針にて承認された。
- ・ シンポジウムの聴講者は自治体、事業者、など幅広く需要を想定した上で、興味を示す関係者を集客できるよう PR 方法、PR 先を今後検討することとした。

PR 先の候補；九州風景街道の関係者、観光関係者、外国人観光客を多く受け入れている自治体、クルーズ船が来航する自治体(長崎・宮崎・鹿児島)、など

4. 支部活動の検討；支部研究発表会について（吉武）

- ・ 別途資料に基づいて発表会開催の可能性について提案、議論がなされた。
- ・ 九州支部では研究発表会の代わりに、ポスターセッションが設置された経緯が確認された。
- ・ 支部シンポジウムと併せて開催とした場合、支部シンポジウムの時期が固定されるため年間スケジュールが立てにくくなるとの指摘がなされた。
- ・ Proceedings を作成して実績と出来るようにする、博士学生が研究初期に他大学の研究者からア

ドバイスを得る機会とする，など支部内で発表するメリットが必要であるとの指摘がなされた。

- ・ 支部総会の開催に併せて実施，ポスターセッションは継続，博士学位取得者のお披露目として行う，との方針にて，引き続き検討することとなった。
- ・ 支部総会当日は，午前中の時間帯も含め，総会・幹事会・ポスターセッション・研究発表会・まちづくり賞表彰式を実施する方向で，引き続き具体的な検討を行うこととした。

5. 「支部ニュース」(10月発行分)(箕浦)

- ・ 別途資料に基づき，「支部ニュース」(10月発行分)について紹介された。

6. 「支部だより」(10月号)(永村)

- ・ 別途資料に基づき，「2014年度の支部だより(「都市計画」)」の方針と予定および「支部だより」(10月発行分)について紹介され，承認された。

7. 名義後援について(坂井)

- ・ 別途資料に基づき，名義後援依頼(2件)が提案され，2件とも名義後援が承認された。

8. 会計報告(内田)

- ・ 別途資料に基づき，9月末時点の出納報告がなされ，原案どおり承認された。

10. その他(箕浦)

- ・ 別途資料に基づき，著書紹介の受入について，これまでの対応や受け入れを行う場合の注意点について指摘がなされた。
- ・ 受入のルールを含めて検討すること，支部として何を広報するかを含めて議論すること，が今後の検討課題となった。

以上